

風樹の窓



01 平和の大切さを問いつける場所として

i. 平和を考えるととは？

終戦から 77 年が経過した今日では、大きな争いごとのない状態（平和な日常）が恒久化し、平和を意識することが少なくなっているように感じます。「平和」を考える上で地上戦を経験し多くの方が亡くなったこの地では、「戦争」を対義としてイメージすることが多いと思います。「戦争」とは、人と人との主義主張の違いからおこる争いごとであると読み取れます。

ii. 正義とは相対的なものである

世界には今まさに戦争状態の国同士がありますが、お互いの主義主張はまさに相対的であり、そこには絶対的な正義は無いようにも感じます。私たちの日常でも小さな子供から大人まで意見の食い違いやささいな勘違いが原因で感情の衝突などがあり、身近な問題として置き換えて考えることができると思います。

iii. 見えない境界の性質、様々な視点を知る

国境や人種、性差や肩書など様々な価値観があることで、目に見えない境界（分類・区別）が原因となり衝突が起こることもあります。しかし、本当に大切なのはその境界の性質を理解することであり、物事を多角的に見ることのできる視点を知る事ではないでしょうか？

本計画では建築を構成する【屋根：窓】を【見えない境界：様々な視点】のメタファーとして再構築することで、平和について考える展望台 - 風樹の窓 - を提案します。

- 屋根 -

屋根は屋内と屋外の境界をつくる要素だと言えます。ここでは屋根の下と屋根の上を行ったり来たりすることで、見え方が変化することを体験してほしいと考えます。

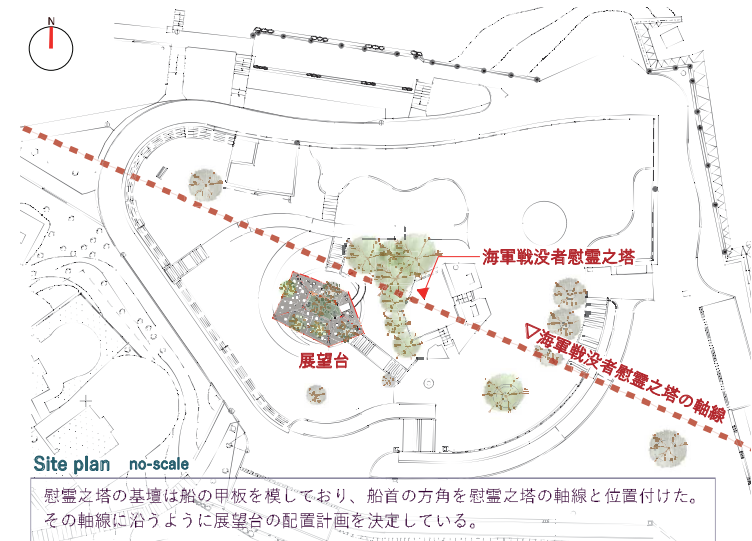


- 窓 -

窓は様々な人の視点を象徴する要素として位置づけます。また、屋根に無数の窓を設ける行為は境界に孔を開け、向こう側があることを示唆します。様々な景色を切り取りながら新たな視点を発見してほしいと考えます。

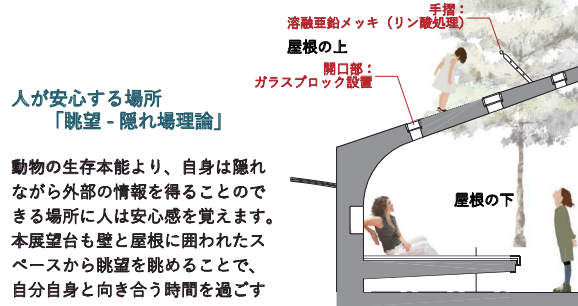


見えない境界をまたいでお互いの視点に立つことができれば、大きな争いごとには発展せず、私たちは歩み寄ることができるのではないのでしょうか？



02 表と裏 多角的な視点を対体験できる展望台

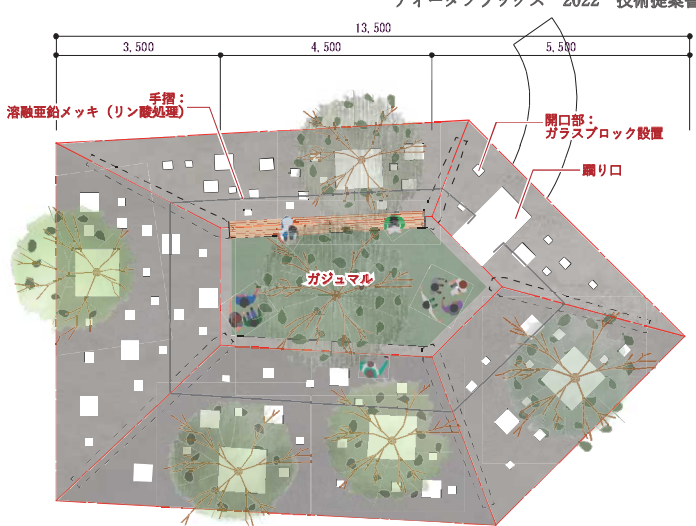
先述した通り平和を考えるためには、多角的な視点で物事を俯瞰する必要がありますが、屋根に空いている無数の窓は様々な人の視点を示唆しています。また、白い塗装を施した屋根の下とは対照的に、黒い塗装を施した屋根の上の空間は、お互いに相対的な環境の世界観を持っています。屋根の上と下を行ったり来たりする事で物事には逆の視点が存在することを体験から学習し、平和の大切さや戦争の悲惨さについて問い続けるきっかけとなります。



動物の生存本能より、自身は隠れながら外部の情報を得ることのできる場所には人は安心感を覚えます。本展望台も壁と屋根に囲われたスペースから眺望を眺めることで、自分自身と向き合う時間を過ごすことができます。



鳥瞰パース：夏至/AM12:30
窓から差し込まれる無数の光は大樹の木漏れ日の様に休憩する者を包みます。また、合祀されている御霊が空から展望台を見ると船に見えるなど視点により変化します。



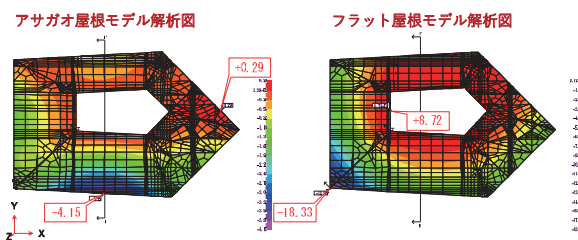
-Roof Plan-

03 構造計画とコストコントロールについて

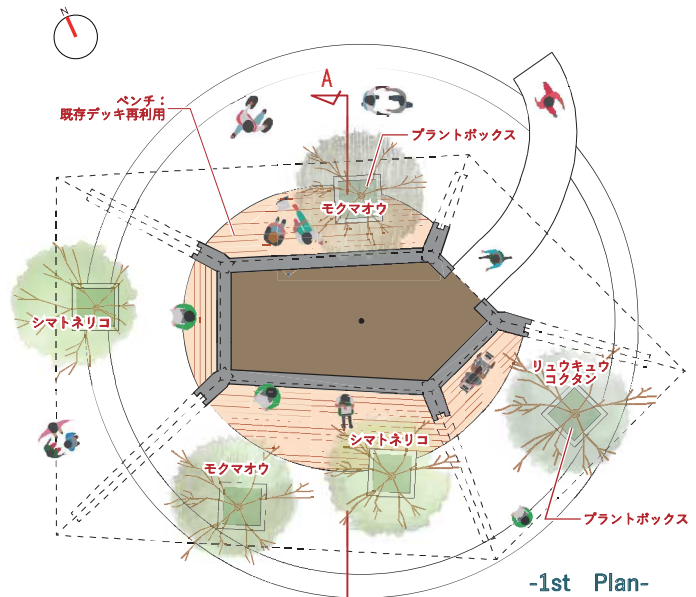
計画地は高台に位置し、台風などによる風の影響が大きいためを考慮して鉄筋コンクリート造を採用します。また、特殊工法に頼らず、直線部材を組み合わせる事で架構することのできる一般工法を採用する事で建設コストへ配慮しました。

建物の基礎を中央部分に集中させることで、土工事、基礎工事のコスト削減としました。

屋根は、アサガオの様な形状を取る事で、片持ちスラブの先端の変形を抑える効果があります。簡易的なFEM解析により、同形状のフラットスラブ架構と比較した結果、スラブの先端の変形に有利なことがわかります。



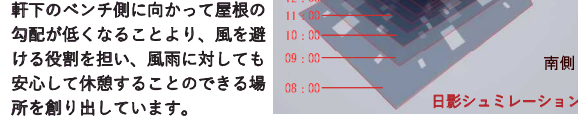
屋根の下：夏至/PM15:00
雨水の一部は舗装部分に水たまりをつくる計画としています。(24Hで浸透排水) スコールの後は反射した光が軒天へ映し出され、ゆらめく現象を体験できます。



-1st Plan-

04 環境に呼応した植物のような建築

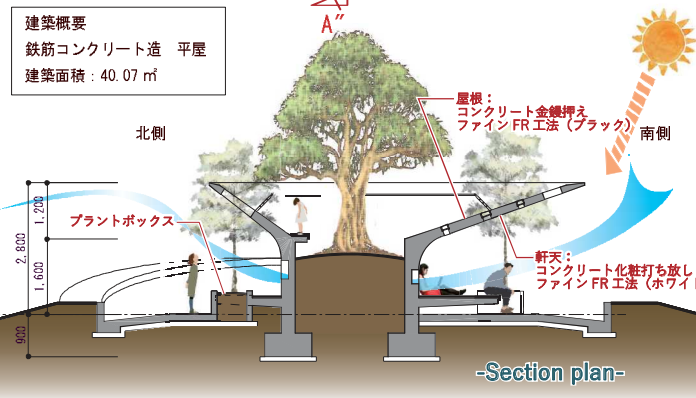
展望台の屋根は南西側へ3.5m、北側へ2.0m跳ねだす片持ちスラブの形状を取っており、植物の様に太陽の動きに呼応した形態としています。軒下のベンチ側に向かって屋根の勾配が低くなることより、風を避ける役割を担い、風雨に対しても安心して休憩することのできる場所を創り出しています。



その他に、スコール後の晴れ間やマジックアワーの時間にはここでしか体験できない不思議な自然現象を楽しむことができます。



屋根の上：春分/PM18:40
標高が高いこの場所ではマジックアワー（日の入り）の時間帯には屋根の下から夕陽が差し込むため、無数の窓が赤く灯る不思議な現象を体験できます。



-Section plan-

建築概要
鉄筋コンクリート造 平屋
建築面積：40.07㎡